



— 鹿児島市立吉田北中学校 —

北だより 7月号

『水は低きに流れ 人は易きに流れる』

校長 鮫島 譲

梅雨明けとともに空には入道雲が立ち上がり、夏の強い日差しが降り注いでいます。さあ、本格的な夏の到来です。そしていよいよ長い夏休みが始まります。

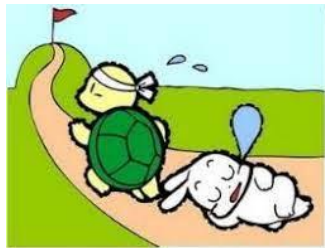
3年余りの長いコロナ渦を経て、5類引き下げとともに以前のような日常が戻りつつあります。吉田北中でもこの1学期間、様々な集会活動や修学旅行などの行事を制限なく実施してきました。マスクを強要することもなく、生徒も生き生きと活動してきました。その表情も心なしか明るくなったように感じます。

4月に着任してから生徒との関わりを持つこと約3か月、吉田北中生の様々な面を発見しました。ステキな面は、真面目で何事にも丁寧に一生懸命取り組む生徒が多いこと、決められたことを守り、素直な生徒であることなどです。反面、少し物足りないと思う面は学習への取組姿勢や困難に立ち向かう強い心です。

さて、表題にある「水は低きに流れ、人は易きに流れる」という格言は、水は、自然と低いほうに流れるように、人は安易な方を選びがちであり、安易な方向へ簡単に流れることを戒めるための言葉です。簡単に言うと、人は放っておくと無意識のうちに楽な方へ、楽な方へと流されていくということです。皆さん、楽な方へ歩いていった経験はありませんか？いつかやろう・・・結局やらなかった経験はありませんか？

楽しく暮らしていけるのなら何よりなのですが、世の中そう甘くはありません。友達が「勉強なんかいいから遊びに行こう！」という流れを作ったとしたら、流れに逆らうために「流されないぞ」という強い意志を持つことが必要です。勉強が大好きで仕方がない！という人は決して多くはないですよ。そうです、易きに流されないために多くの人は「流されないぞ」という強い意志をもって取り組んでいます。意志が弱かったり、努力が足りなかったりすると一気に流れに飲み込まれてしまいます。流れに身を任せてたどり着く先は、自分や自分たちが目標としていた場所、自分たちが目指す場所とは程遠いのではないのでしょうか。

さて、いよいよ42日間の長い夏休みがやってきます。様々な誘惑があり、易きに流されやすいときです。たまには息抜きも必要ですが、怠惰という大きな流れに流されないように、計画的に過ごせるようにしてください。



【保護者の皆様へ】

1学期の本校の様々な活動に対して、御理解と御協力を賜り感謝申し上げます。十分ではなかった点多々ありますが、具体的な反省をもとに改善に取り組んでまいります。二学期もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、長い夏休みが始まります。ご家庭におきまして

はお子さんが規則正しい生活を送れるようにお声掛けをお願いいたします。特に「早寝・早起き・朝ごはん」を意識していただくとありがたいです。将来の夢に向かって大きく成長できる大切な期間だと考えます。何かと大変かとお察ししますが、御協力をよろしくお願いいたします。

話題

学校運営協議会

6月27日(火)に、第2回学校運営協議会を、7月11日(火)には、第3回学校運営協議会を開催しました。

第2回学校運営協議会では、小学校は5・6年生の陶芸教室の様子を、中学校は昨年度から学校運営協議会の支援をいただいて取り組んでいる、郷土芸能伝承活動(西下田ノ神棒踊り)の練習の様子を参観していただきました。陶芸教室では軽部美代子さん、棒踊りでは谷口武信さん・大丸法照さんの指導のもと、熱心に取り組んでいる子どもたちの姿に対して、高い評価をいただきました。(アンケート結果より)

第3回学校運営協議会では、1学期の教育活動の様子や学校に配布されているタブレット端末を用いて、NRT(標準学力検査)の分析による改善策などを説明しました。また、子どもたちや保護者に配布する予定の「夏休みの生活心得」についても説明しました。子どもたちにとって、安全で安心して過ごせる夏休みになるように、地域での見守り・声掛け等をお願いしました。



話題

県民の日(7月14日)

県民の日は、鹿児島の歴史や文化などを見つめ直し、ふるさとを愛する心を育むことによって、自信と誇りにあふれる、より豊かな鹿児島を築き上げることを期する日として制定されました。そこで、本校ではこの県民の日の前後に「郷土芸能伝承活動」や「かごしまジュニア検定」を全校生徒で受検するなどの取り組みを行いました。

行事

7月の活動紹介

レクリエーション・ニュースポーツ教室（全学年）

7月5日（水）に、県レクリエーション協会から大平公明先生と今村和巳先生をお招きして、レクリエーション・ニュースポーツ教室を開催しました。子どもたちは、2時間の活動を通じて、体を動かすことの楽しさや仲間と協力し合っ一つのことに取り組むことの面白さを体験することができました。次回のレクリエーション・ニュースポーツ教室の開催は11月を予定しています。



福祉体験学習（1年生）

7月5日（水）に、県介護実習・普及センターから推進委員の方々を講師としてお招きし、「地域ジュニア福祉体験教室」と題して、福祉体験学習を実施しました。装具をつけての高齢者疑似体験や車いすの介護体験など、普段なかなかできない体験をさせていただきました。当日は雨のため、体育館の外に出ていく活動はできませんでしたが、とても貴重な体験ができました。



ストレスマネジメント教室（全学年）

7月11日（火）に、今年度も三州協田丘病院の公認心理師で臨床心理士の甲斐天翔先生をお招きしてストレスマネジメント教室を開催しました。ストレスとは何か。また、どのようなものがストレスか。ストレスに対してどのように付き合っていけばよいのかなどを、呼吸法やリラックス法について実際に体を動かしながら説明していただきました。ストレスには、自分のパフォーマンスを高めるために必要なものもあります。ストレスとの向き合い方や自分なりの対処法について、これからも考えていきたいものですね。



話題

国際交流活動

7月13日（木）に、九州日本語学校から、校長先生をはじめ、15名の学生さんたちをお招きして、4年ぶりの交流会を開催しました。全体活動では、生徒による吉田北中の紹介や学生さんによる各国の紹介が行われました。また、全員でAKB48の「365日の紙飛行機」を歌って盛り上がりました。その後のグループ活動では、福笑いやジェスチャーゲームなどを一緒に行い、さらに交流を深めました。最初はとても緊張していた生徒・学生さんたちでしたが、交流会が終わるころには、とても仲良くなり、「来年も会おうね!」と、学生さんたちを乗せた車が見えなくなるまで見送る姿が見られました。



よしてきた!北中生の活躍

【南日本新聞7月1日オセモコ夏休み特集号掲載】
愛とアイデア ギュッと込め
吉田北中・自分でつくる「弁当の日」

行事

8・9月の行事予定

- 8月1日（火） 出校日
- 13日（土）～15日（月） 学校閉庁日
- 21日（月） 出校日
- 9月1日（金） 始業式、高齢者への手紙
- 3日（日） P T A 親子奉仕作業
- 4日（月） 登校指導
実力テスト（全学年）
- 5日（火） 運動会環境整備
- 9日（土） 土曜授業 郷土芸能伝承活動⑤
- 12日（火） 校内席書会（～14日）
- 14日（木） 郷土芸能伝承活動⑥
- 19日（火） 小中合同大運動会予行
- 21日（木） 生徒会専門部会
- 22日（金） 小中合同大運動会準備
- 23日（土） 緑門づくり（父親セミナー）
- 24日（日） 第16回小中合同大運動会
- 25日（月） 振替休日

